

令和8年7月28日発生 地震対応・被災地支援 活動報告



社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団

対象期間：令和8年7月28日～8月5日

このたびの地震により亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当法人においても、一部の施設で設備や備品の破損等が確認されましたが、幸いにも重大な人的被害はなく、施設ごとに安全確認と復旧対応を進めました。その上で、当法人としてできることを検討し、関係者の皆様と連携しながら、被災地域への支援に取り組んでまいりました。

被災された地域の一日も早い復旧・復興を、心よりお祈り申し上げます。

01 活動の概要

令和8年7月28日に発生した地震を受け、当法人では、ご利用者及び職員の安全確保と事業継続に取り組みました。

同時に、発災直後の約1週間、株式会社Re学代表取締役の川畑智氏と連携し、飲料水・食料等の支援物資の提供・搬送や支援先との調整・マッチングを行い、被災地域のニーズに応じた支援に協力しました。

本資料では、令和8年7月28日から8月5日までの主な対応と支援活動について報告します。



地震により備品等が転倒した秋津デイサービスセンター

02 発災直後の対応

▼主な対応

- ご利用者、職員の安否確認
- 建物、設備、ライフラインの被害確認
- 対策本部の設置、情報集約、営業継続等の判断
- 独居ご利用者宅への訪問確認、緊急ショートステイの受入れ
- 福祉避難所としての受入体制確認

▼発災後約 1 週間の主な対応経過

7月28日	安否・被害確認、対策本部設置、各事業所の営業判断
7月29日	施設の安全確認・復旧対応、八代・宇城地域の被害状況・支援ニーズを確認
7月31日	(株)Re学と連携した飲料水等の物資提供を開始
8月2日～3日	(株)Re学と連携し、支援物資の提供・追加搬送を実施
8月3日～4日	八代圏域へ相談支援専門員を派遣
8月5日	(株)Re学の橋渡しにより、益城町災害ボランティアセンターへ救援物資を提供

03 (株)Re学との連携による初動支援

発災直後は、被災地域の支援ニーズと、提供可能な物資・協力先を迅速につなぐことが求められました。当法人では、(株)Re学との連携を通じて、物資の提供、追加搬送、支援先との調整を進めました。



Re学と連携した救援物資の搬送



飲料水等の救援物資を積み込む様子

連携の流れ	主な内容
被害状況・支援ニーズの把握	八代・宇城地域の基幹相談支援センターを訪問し、地域の被害状況や支援ニーズを把握しました。
(株)Re学との連携・調整	被災地域の状況や支援ニーズを踏まえ、必要な物資、搬送先、支援方法等について(株)Re学と情報を共有・調整しました。
物資支援の実施	飲料水・食料等の救援物資を提供・追加搬送し、(株)Re学の橋渡しにより、益城町災害ボランティアセンターへ救援物資を届けました。



(株)Re学と連携し、飲料水等の救援物資を被災地域へ搬送

04 相談支援専門員による被災地支援

当法人の相談支援専門員を、八代圏域障がい者基幹相談支援センター「アクロス」へ派遣しました。

現地の相談支援専門員等と連携し、被害状況や支援ニーズの情報整理、戸別訪問に向けた資料準備、訪問地域の振り分け等を行い、被災された障がいのある方等への支援体制の整備に協力しました。



現地関係者との情報共有・支援体制の確認
(八代圏域障がい者基幹相談支援センター「アクロス」)



支援活動に向けた資料準備

05 ご協力への御礼と今後の対応

今回の支援に当たり、物資の提供、搬送、支援先との調整、現地での受入れ等にご協力いただいた(株)Re学をはじめ、企業、団体、関係機関及び地域の皆様に、厚く御礼申し上げます。

被災地域では、今後も安否確認、生活状況の把握、物資提供、相談支援等の継続が必要です。当法人では、関係機関や地域の関係者とのつながりを生かしながら必要な支援を継続するとともに、今回の対応を災害時の情報共有体制、備蓄・物資管理、福祉避難所の受入体制及び事業継続体制の改善につなげてまいります。

社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団

令和8年8月5日 現在